

議会改革報告書

地方分権時代にふさわしい議会の姿を目指して

(平成30年1月から令和3年9月までの取組)

令和3年9月

議会運営委員会

目 次

第1 議会改革について	1
第2 議会基本条例の検証について	6
第3 今後に引き継ぐ事項について	10
資料編	11

第1 議会改革について

1 平成30年度から取り組んできた議会改革の概要

	改革事項	取組の結果
1	議員定数の見直し	令和3年10月から定数30名を26名とする
2	議員報酬の見直し	引き続き検討する
3	政務活動費のあり方	引き続き検討する
4	ICT化、タブレットの導入	タブレット端末を令和元年12月議会から導入
5	通年議会の検討	令和3年1月から通年議会を導入
6	質問のあり方	平成31年3月（第69回定例会）から代表質問制を導入
7	議会運営委員会への委員外議員の出席	委員会への出席を求めた場合は、費用弁償の対象とした
8	常任委員会の見直し	4常任委員会を3常任委員会とし、新たに広聴広報委員会を加えた
9	予算、決算審査特別委員会の審査方法の見直し	原状のとおりとする
10	議会基本条例の検証	「第2 議会基本条例の検証」のとおり
11	一関市議会会議規則第165条の見直し	新たにICT活用推進プロジェクトチームを追加した
12	先進地視察研修	岩手県北上市、愛知県可児市、愛知県小牧市議会、岩手県滝沢市議会を視察
13	議員間討議	引き続き検討する
14	災害対策行動指針の策定	平成31年4月施行
15	議会報告会、市民と議員の懇談会への議員派遣	平成30年度から議会活動とし、議員派遣とした
16	委員会の会議録の公開	ホームページで令和元年12月以降開催分から公開
17	オンライン意見交換会	令和2年に大学生とのオンラインによる意見交換会を開催
18	議会モニターの設置	令和3年度から議会モニターを導入

2 各改革事項

(1) 議員定数の見直し

令和2年に定数の見直しを協議したが、委員全員の意見はまとまらず、委員会発議とならなかった。令和2年6月議会に定数条例改正の議案が提案され、可決、令和3年10月の新しい任期から定数は26名となった。

(2) 議員報酬の見直し

調査検討を行ってきたが、現任期中に結論を得るには至らなかった。改選後も検討の継続を要する。

(3) 政務活動費のあり方

議会運営委員会で調査検討を行ってきたが、現任期中に結論を得るには至らなかった。改選後も検討の継続を要する。

(4) ICT化、タブレットの導入

平成30年度から調査研究を開始し、岩手県北上市議会、愛知県可児市議会での取組事例を視察した。タブレット端末を令和元年10月に導入し、操作研修を行い、令和元年12月定例会から使用を開始した。

タブレット端末の主な活用は次のとおりである。

- ① 議案などの閲覧
- ② メールによる本会議、委員会などの招集通知
- ③ カレンダーによる日程管理
- ④ 各種情報の通知

オンライン会議など、さらなる議会のICT化を進めるため、令和2年9月議会でICT活用推進プロジェクトチームを設けることを決定し、調査研究を行った。令和3年3月にプロジェクトチームから「オンライン会議導入に向けた検討報告について」の提出があった。

(5) 通年議会の検討

令和2年9月議会で、一関市議会定例会条例などを改正し、12月議会で一関市議会会議規則の改正を行い、令和3年1月から通年議会を導入した。

通年議会の導入にあわせ、執行部の本会議への出席者も見直しが行われた。

(6) 質問のあり方

平成31年3月（第69回定例会）から代表質問制を導入した。

(7) 議会運営委員会への委員外議員の出席

委員会で委員外議員に出席を求めた場合は公務とし、費用弁償の対象とした。

(8) 常任委員会の見直し

議員定数の見直しにあわせて、常任委員会の見直しを行い、令和3年の2月通常会議で4常任委員会（総務、産業経済、建設、教育民生）を3常任委員会（総務、産業建設、教育民生）とすることとし、委員会条例を改正した。

議会の広聴広報機能を強化するため、現在の議会報編集特別委員会を常任委員会の広聴広報委員会とすることとし、令和3年の9月通常会議で関係条例を改正した。令和3年10月からは新しい4常任委員会となる。

(9) 予算、決算審査特別委員会の審査方法の見直し

予算、決算審査特別委員会の審査方法について議論を重ねたが、現状を維持することとなった。

(10) 議会基本条例の検証

会派からの意見などを基に、議会基本条例の検証を行った。詳細は、2 議会基本条例の検証に記載のとおり

(11) 一関市議会会議規則第165条の見直し

議会のICTを調査研究するため、令和2年9月定例会で会議規則を改正し、ICT活用推進プロジェクトチームを設けた。

(12) 先進地視察研修

議会改革を進めるため、岩手県北上市議会、岩手県滝沢市議会、愛知県可児市議会、愛知県小牧市議会の先進事例を視察した。

(13) 議員間討議

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において、会派で協議議論した事項を委員会に提出し、委員会でさらに調査などを行い、市への提言書、国への意見書としてまとめた。

さらなる議会活性化のため、議員間討議については検討の継続を要する。

(14) 災害対策行動指針の策定

一関市議会災害対策行動指針を平成31年4月策定した。

(15) 議会報告会、市民と議員の懇談会への議員派遣

市民と議員の懇談会について、平成30年4月から議会活動と位置付けた。

(16) 委員会の会議録の公開

令和元年12月以降に開催した委員会の会議録はホームページで公開することとした。

(17) オンライン意見交換会

令和2年度からオンラインによる意見交換会を導入した（令和2年度は一関市出身で市外在住の大学生と意見交換を行った。）

(18) 議会モニターを設置

令和3年度から議会モニターを導入した。

3 その他の改革事項

(1) 一関市議会会議規則の改正

- ・本会議、委員会における欠席事由について、具体的な事由を規定した。
見直し前 事故のため
見直し後 公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため
- ・出産による欠席の場合の期間について明示した。
- ・請願書における押印規定を見直した。

(2) 議場、委員会室等への携行品について

議場、委員会室等への携行品について、具体の運用を定めた。

第2 議会基本条例の検証について

議会基本条例は、平成19年6月に議員発議により制定された。

制定後10年以上が経過したが、基本条例に規定どおり実施されているか、社会情勢の変化などにより見直すべき規定はないかなど、これまで検証する機会を持たなかったことから検証を行った。

1 検証の方法

会派、会派に属さない議員で検証を行い、その結果を基に議会運営委員会で検証結果のとりまとめを行った。

2 検証結果

検証結果は別紙のとおり

評価において、△：一部水準に達していないとして条文については、今後においても、検討を継続されたい。

	見出し	条	条文	評価	主な取り組み状況	評価の考え方	引き続き検討などを要する事項	項目の評価とは別に まとめに記載するもの
第1章 総則	目的	第1条	この条例は、議会の理念、議員の責務及び活動原則等を定めることにより、議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本的事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく市民の負託に的確にこたえ、もって市民福祉向上及び市勢の伸展に寄与することを目的とする。	対象外		条例の目的であることから、取り組みの評価の対象としない。		
	(基本理念)	第2条	議会は、分権時代を先導する議会をめざし、市民自治の観点から、真の地方自治の実現に取り組むものとする。	対象外		条例の基本理念であることから、取り組みの評価の対象としない。		
	(基本方針)	第3条	議会は、前条の基本理念に則り、次に掲げる基本方針に基づいた議会活動を行うものとする。 (1) 議会活動を市民に対して説明する責務を有することにかんがみ、積極的に情報の公開を図るとともに、市民が参画しやすい開かれた議会運営を行うこと。 (2) 議会に本来の機能である政策決定並びに市長の事務の執行について監視及び評価を行うこと。 (3) 提出された議案の審議又は審査を行うほか、独自の政策立案や政策提言に取り組むこと。 (4) 地方分権の進展に的確に対応するため、他の自治体の議会との交流及び連携を行うこと。	○	基本方針を具現化するための内容は次条以降に規定しており、その取り組み状況はそれぞれの条項に記載する。	基本方針を受けての具体的に取り組む内容は第4条以降に規定しており、第4条以降において、概ね○であったことから、○とする。		
第2章 議員の責務及び活動原則	(議員の責務及び活動原則)	第4条	1 議員は、地域の活動のみならず、市政の課題とこれに対する市民の意向を的確に把握し、合議制の機関である議会を構成する一員として、議会活動を通じて、市民の負託にこたえるものとする。 2 議員は、日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めるものとする。 3 議員は、議会活動について、市民に対して説明する責務を有する。	○	・全議員及び常任委員会毎に市民と議員の懇談会を開催し、市当局に対し、提言を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会小委員会で調査を実施した。 ・研修への参加、講演の聴講などにより、資質向上に努めた。 ・「市議会だより」を年4回発行し、活動内容を周知した。 ・各会派等で広報を発行した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
	(会派)	第5条	1 議員は、議会活動を行うため、会派を結成することができる。 2 会派は、政策立案、政策決定、政策提言に関し、会派間で調整を行い、合意形成に努めるものとする。	△	・令和3年4月現在、5つの会派数を結成している。 ・新型コロナウイルス感染症に係る提言などについては、会派間で調整を行い、合意形成を図り、提言書を提出した。	会派間での調整が行われることが少ないことから「△」とする。	政策立案等に関し、会派間で調整の取り組みが必要	
	(災害に関する議員及び議会の役割)	第6条	議員及び議会は、防災及び減災対策に率先して取り組むとともに、災害が発生した場合においては、市民生活の安全及び安心を機軸とした活動を行うとともに災害からの復興に向けて積極的な役割を果たすよう努めるものとする。	○	・平成31年4月に災害対策行動指針を策定した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。	現災害対策行動指針には、感染症対策についての記述がないことから見直しが必要	
第3章 議会運営等の原則	(議会運営等の原則)	第7条	1 議会は、本市の基本的な政策決定、市長等の事務の執行等の監視及び評価並びに政策立案及び政策提言を行う機能が十分発揮できるよう、円滑かつ効率的な運営に努め、合議制の機関である議会の役割を果たさなければならない。 2 議会は、議長、副議長、議会運営委員会等の委員長及び副委員長を選出するときは、その経過を明らかにしなければならない。 3 議会運営委員会は、議会運営について協議し、調整するものとする。 4 常任委員会又は特別委員会は、それぞれの設置目的に応じた機能が十分発揮されるよう運営されなければならない。	○	・議会運営委員会で、議会運営について協議・調整を行い、円滑かつ効率的な運営に努めた。 ・正副議長選挙に当たっては、選挙前に意欲のある議員が所信を述べる機会を設けた。 ・委員会は、設置目的に応じ円滑かつ効率的な運営に努めた。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。	一部の事務執行において、議会の監視が十分でないところもあったことから、検討が必要	
	(議会の説明責任)	第8条	議会は、議会運営、政策立案、政策決定、政策提言等に関し、市民に対して説明する責務を有する。	○	・議会での審査・調査の経過が分かるよう、常任委員会、議会運営委員会の会議録を公開している。 ・市議会だよりを通じて、経過を説明している。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
第4章 市長等との関係	(市長等との基本原則)	第9条	議会は、市長等と常に緊張ある関係を構築し、事務の執行の監視及び評価を行うとともに政策立案及び政策提言を通じて、市政の発展に取り組まなければならない。 2 議会は、市長との立場及び権能の違いを踏まえ、議会活動を行わなければならない。	△	・予算・決算審査の際、特別委員会を設置して、監視・評価を実施し、必要に応じ、附帯意見を付している。 ・新型コロナウイルス感染症に係る提言などを実施した。 ・必要に応じ議員全員協議会や委員会を開催し、当局から事業の進捗等の報告を得ている。	事務執行の評価・監視について、取り組みが不十分であったことから、「△」とする。	議会として、事務執行の監視・評価について引き続き検討が必要	
	(反問権)	第10条	議会の会議において、市長等は、議員の質問に対し、議論を深めることを目的に、議長又は委員長の許可を得て、反問することができる。	○	・第58回定例会(平成28年9月)から反問権を導入した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。	議論をさらに深めるため、改善について検討が必要	

	見出し	条	条文	評価	主な取り組み状況	評価の考え方	引き続き検討などを要する事項	項目の評価とは別に まとめに記載するもの
第4章 市長等との関係	(監視及び評価)	第11条	議会は、市長等の事務の執行について、事前又は事後に監視する責務を有する。 2 議会は、議場における審議、決算の認定、監査の請求、調査の実施等を通じて、市民に市長等の事務の執行についての評価を明らかにする責務を有する。	△	・予算・決算審査の際、特別委員会を設置して、監視・評価を実施し、必要に応じ、附帯意見を付している。 ・その結果、市長等から議会に対し、事業の進捗状況等について説明があった。	事務執行の評価・監視について、取り組みが不十分であったことから、「△」とする。	議会として、事務執行の監視・評価について引き続き検討が必要	
	(政策立案及び政策提言)	第12条	議会は、条例の制定、議案の修正、決議等を通じて、市長等に対し、積極的に政策立案及び政策提言を行うものとする。	○	・「地元の森林を活かす一関市林業振興条例」を産業経済常任委員会の発議により制定した。 ・新型コロナウイルス感染症に係る提言や決議などを実施した。 ・各種施策について、国や県などに必要に応じて意見書を提出した。	委員会発議により新たな条例を制定したことから、○とする。	条例の制定や議案の修正などを通じて、政策を立案する機能について検討が必要	
第5章 議会の機能の強化	(議会の機能の強化)	第13条	議会は、市長等の事務の執行の監視及び評価並びに政策立案及び政策提言に関する議会の機能を強化するものとする。	△	・予算・決算審査の際、特別委員会を設置して、監視・評価を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置し、提言を実施した。	通年議会を導入し機能強化を図ったが、引き続き市長等の事務執行を注視する必要があることから「△」とする。	事務執行の監視・評価に関する議会の機能強化について引き続き検討が必要	
	(専門的知見の活用)	第14条	議会は、議会活動に関し、議案の審査、当該地方公共団体の事務に関する調査のために必要な専門的事項に関する調査を、改正地方自治法(平成18年法律第53号。以下「改正法」という。)第100条の2の規定により学識経験を有する者等にさせることができる。	対象外	・地方自治法第100条の2の規定により学識経験を有する者等に、調査をさせる案件がなかった。	学識経験者等に調査をさせることができる旨の規定であり、評価になじまない。		
	(議員間討議)	第15条	議員は、議会の権能を発揮するため、議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会において、積極的に議員相互間の討議に努めるものとする。 2 議員は、議員間における討議を通じて合意形成を図り、政策立案、政策提言等を積極的に行うものとする。	△	・委員会で採決する前に、議員相互間の討議を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対応についての提言に当たり、議員間での討議を行い、合意形成を図った。	議員相互間の討議について、議員間で考え方が異なっており、共通理解と方法の検討が不十分であったことから、「△」とする。	議員相互間の討議について、引き続き検討が必要	議員相互間の討議について、引き続き検討されたい。
	(研修及び調査研究)	第16条	議員は、政策立案及び政策提言能力向上のため、研修及び調査研究に積極的に務めるものとする。	○	・研修及び調査活動に取り組んだ。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
	(政務活動費)	第17条	会派及び議員は、調査研究その他の活動に資するために政務活動費の交付を受け、証拠書類を公開すること等によりその用途の透明性を確保するものとする。 2 政務活動費に関しては、別に条例の定めるところによる。	○	・政務活動費に係る領収書を含む証票を公開した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
第6章 市民との関係	(市民の議会への参画の確保)	第18条	議会は、市民の意向を議会活動に反映することができるよう、市民の議会活動に参画する機会の確保に努めるものとする。	○	・会議日程(本会議、委員会)をホームページに掲載し、周知した。 ・市民と議員の懇談会の開催した。 ・(予定)議会モニターを委嘱し、市民が議会活動に参画する機会を確保した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		市民の議会への参画について検討されたい
	(議会報告会)	第19条	議会は、市民の参加を高め、連携を深める場として、議会報告会を年1回以上開催し、広く市民に議会の活動状況を報告するとともに意見を聴取して議会活動に反映させるものとする。 2 議会報告会に関し必要な事項は、別に定める。	○	・議会報告会を兼ねて市民と議員の懇談会を実施している。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。	市民と議員の懇談会について、多くの市民に参加いただくよう引き続き検討が必要 意見などを議会活動に反映させる仕組みを構築し、より一層市民の満足度を向上させる取り組みについて検討が必要	議会活動への反映方法について、引き続き検討されたい。
	(市民懇談会)	第20条	議会は、市民、市民団体等と議員とが自由に情報及び意見を交換する場として、必要に応じて、市民懇談会を開催するものとする。 2 市民懇談会に関し必要な事項は、別に定める。	○	・市民と議員の懇談会を開催した。 ①地域協働体と懇談会を開催 ②常任委員会毎に関係団体等と懇談会を開催	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。	市民と議員の懇談会について、多くの市民に参加いただくよう引き続き検討が必要	議会活動への反映方法について、引き続き検討されたい。
	(広聴広報機能の充実)	第21条	1 議会は、議会に対する市民の意向の把握及び多様な媒体を用いた市民への情報提供に努めるものとする。 2 議会は、広聴広報機能の充実を図るため、議員で構成する議会報編集特別委員会を設置する。	○	・市民と議員の懇談会を開催した。 ・ホームページで、本会議・委員会日程、一般質問通告書、会議録などを掲載した。 ・議会だよりを年4回発行し、市内全世帯へ配付した。 ・大学生等とのオンライン意見交換会を実施した。 ・(予定)議会報編集特別委員会の所管事項を見直すとともに、名称の変更を行い、広聴広報機能を強化する。 ・(予定)議会モニターを委嘱し、市議会だよりに対する意見をいただく。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		

	見出し	条	条文	評価	主な取り組み状況	評価の考え方	引き続き検討などを要する事項	項目の評価とは別に まとめに記載するもの
第6章 市民との 関係	(議会活動にお ける資料の公 開)	第22条	議会は、一関市情報公開条例(平成18年一関市条例第77号)との整合を図りつつ、議会活動に関する資料を原則として公開し、会議録については、議会図書室、各支所等において市民が閲覧できるようにしなければならない。	○	・本会議の記録は、議会図書室で閲覧、ホームページで検索し、閲覧ができる。 ・令和元年12月から委員会の記録をホームページで閲覧ができるようにした。 ・自宅等でホームページから会議録を閲覧することができ、支所での閲覧のニーズがないことから、支所での閲覧を削除する。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
第7章 議会改革 の推進	(議会改革の推 進)	第23条	議会は、議会改革に関する事項について、議会運営委員会において協議を行う。	○	議会改革のための検討を要する事項を会派等から募り、議会運営委員会で協議し、実行した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
	(交流及び連携 の推進)	第24条	議会は、他の自治体との交流及び連携を推進するため、独自に又は共同して、分権時代にふさわしい議会の在り方についての調査研究を行うものとする。	○	全国市議会議長会などに加入し、情報の共有と、共通課題について要望活動を実施した。 奥州市・平泉町・一関市の2市1町議会、栗原市・登米市・一関市の3市議会、気仙沼市・陸前高田市・一関市の3市議会、岩手・宮城県際の9市町議会で交流し、地域課題について共通理解を深めている。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
第8章 政治倫理	(政治倫理)	第25条	議員は、市民の負託にこたえるため、高い倫理的義務が課せられていることを自覚し、市民の代表として良心と責任感を持って、議員の品位を保持し、識見を養うよう努めなければならない。 2 議会は、議員の政治倫理に関して別に条例を定める。	○	平成19年9月に一関市議会議員政治倫理条例を制定した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
第9章 議会事務局 等	(議会事務局)	第26条	議会は、議会の政策能力を向上させ、議会活動を円滑かつ効率的に行うため、議会事務局の機能の強化及び組織体制の整備を図るものとする。	○	・議会運営に係る情報や各種施策の資料を全国市議会議長会を通じて収集した。 ・他市の事例、先進事例などを収集し、議員に情報提供した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。	政策立案に精通した職員の配置など、議会事務局の機能強化を図る必要がある	
第10章 補則	(他の条例との 関係)	第27条	この条例は、議会に関する基本的事項を定める条例であり、議会に関する他の条例等を制定し、又は改廃する場合においては、この条例との整合を図るものとする。	○	議会に関する条例等の制定、改正に当たっては、基本条例との整合性を確認した。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		
	(検討)	第28条	議会は、この条例の施行後、常に市民の意見、社会情勢の変化等を勘案し、必要があると認めるときは、この条例の規定について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。	○	必要に応じて、改正を行った。	概ね条例に規定された取り組みを進めていることから○とする。		

第3 今後に引き継ぐ事項について

平成30年から議会改革について取り組んできたが、さらに議論を深めるもの、検討が必要なもの、取り組みを強化するものなどは次のとおりである。

(1) 議員報酬

他市の報酬について調査し、協議を行ったが、結論には至らなかった。委員から議員のなり手確保のためにも、報酬の額について引き上げるべきとの意見も出された。住民意見も聞きながら、議会内で十分な議論が期待される。

(2) 政務活動費

他市の政務活動費について調査し、協議を行ったが、結論には至らなかった。住民の意見も聞きながら、議会内で十分な議論が期待される。

(3) 議会のICTの推進

ICT活用推進プロジェクトチームにより検討され、報告があったが、委員会へのオンラインによる会議の導入など、更なる調査研究が必要と思われる。

また、オンライン会議のみならず、タブレット端末の更なる活用についても検討されたい。

(4) 議会選出監査委員

従来は議会選出監査委員を置いてきたが、他市では置いていない団体もある。議会選出監査委員選出のあり方について、議論されたい。

なお、あわせて決算審査特別委員会委員に議会選出監査委員を含めるかどうかについても検討されたい。

(5) 議員間討議

議員間討議については、更なる議会活性化のため、他市の事例などを参考に検討されたい。

(6) 議会の業務継続計画

地震、台風など自然災害、新型コロナウイルス感染症などの流行等の状況においても、議会の機能が維持できるよう業務継続計画の策定について進められたい。

資 料 編

- ・ 議会運営委員会委員名簿
- ・ 委員会等の開催状況
- ・ 視察の状況

議会運営委員会 委員名簿

職 名	氏 名	備 考
委 員 長	勝 浦 伸 行	
副委員長	金 野 盛 志	
委 員	岩 渕 優	
委 員	佐 藤 浩	
委 員	小野寺 道 雄	
委 員	橋 本 周 一	
委 員	藤 野 秋 男	

議 長	槻 山 隆	
副 議 長	沼 倉 憲 二	

委員会等の開催状況

	開催日 会議名	内 容
第1回	平成30年1月15日 議会運営委員会	会派ごとに課題を提案 ・短期的に取り組む課題 ・中長期的に取り組む課題
第2回	平成30年3月13日 議会運営委員会	協議① 改革項目44項目
第3回	平成30年4月18日 議会運営委員会	協議① 改革項目44項目を17項目とした ② 議会運営委員会への委員外議員の出席 ③ 災害対策行動指針の策定 ④ 先進地視察 決定事項① 議会運営委員会への委員外議員の出席【費用弁償の対象とする】 ② 先進地視察【北上市議会】
第4回	平成30年5月8日 行政視察	北上市議会視察 ・タブレットの導入 ・通年議会
第5回	平成30年5月16日 議会運営委員会	改革項目を17項目から16項目とした 協議① ICT化、タブレット化 ② 懇談会（議会終了）のあり方 決定事項① ICT化、タブレット化【研修会の実施】 ② 懇談会（議会終了）のあり方
第6回	平成30年6月1日 平成30年6月5日 タブレット勉強会	ICT化、タブレット化 タブレット勉強会（株式会社ドコモCS東北）
第7回	平成30年6月5日 議会運営委員会	協議① 議員定数【各会派から意見を聴取、継続】 ② 災害対策行動指針の策定【各会派から意見を聴取、継続】 ③ ICT化、タブレット化【継続】
第8回	平成30年7月17日 議会運営委員会	協議① 議員定数【事務局から資料提供】 ② ICT化、タブレット化【導入を検討、事務局にて予算検討】
第9回	平成30年8月21日 議会運営委員会	協議① 一関市議会会議規則第165条の見直し（協議等の場の追加） ② 災害対策行動指針の策定 ③ 議会報告会・市民懇談会（市民と議員の懇談会）への議員派遣 決定事項① 一関市議会会議規則第165条の見直し（協議等の場の追加） ② 災害対策行動指針の策定 ③ 議会報告会・市民懇談会（市民と議員の懇談会）

		への議員派遣
第10回	平成30年8月31日 議員全体会	議員全員への説明会（第1回） ・議会運営委員長から経過等について説明
第11回	平成30年10月3日 議会運営委員会	協議① 議員定数【事務局から資料提供】 ② 議員報酬【事務局から資料提供】
第12回	平成30年11月27日 議会運営委員会	協議① 議員定数【事務局から資料提供】 ② 議員報酬【事務局から資料提供】 ③ 質問のあり方
第13回	平成30年12月13日 議会運営委員会	協議① 質問のあり方【会派から意見の発表】 決定事項① 質問のあり方（3月予算議会での代表制の導入： 今後当局との協議）
第14回	平成31年1月22日 議会運営委員会	協議① 議員定数【会派意見】 ② 議員報酬【会派意見】 ③ 政務活動費のあり方【会派意見】 ④ 質問のあり方（代表質問）【協議】 決定事項①質問のあり方（代表質問、順番） ・実施する議会・・・3月定例会（予算議会） ・日程・・・現在の一般質問の3日間の初日を代表質問にあてる ・会派の要件・・・会派規程により2人以上の会派 ・質問の順番・・・所属議員の人数が多い会派の順とする（同数の場合は交互） ・質問時間・・・会派所属議員8人以上60分、5人から7人50分、2人から4人40分
第15回	平成31年2月14日 議会運営委員会	協議① 通年議会【意見交換】
No.6 質問のあり方 第68回定例会（平成31年2月19日～3月15日） 代表質問導入、質問順番は会派の所属議員の多い順とした		
第16回	平成31年3月14日 議会運営委員会	協議① 議員定数【会派意見検討】 ② 議員報酬【会派意見検討】 ③ 政務活動費のあり方【会派意見検討】 ④ 代表質問【会派意見検討】 ⑤ 常任委員会の見直し【会派意見検討】 ⑥ 先進地視察【協議】 決定事項① 先進地視察 4/23（火）～4/24（水）岐阜県可児市議会、愛知県小牧市議会
第17回	平成31年4月23日 ～24日 行政視察	岐阜県可児市議会 ・議会改革の取り組みについて 愛知県小牧市議会 ・議会改革の取り組みについて 出席者 議会運営委員会委員、正副議長
第18回	令和元年5月10日 議会運営委員会	協議① 議員定数【意見交換】【資料説明】 ② 議員報酬【意見交換】【資料説明】 ③ 政務活動費のあり方【意見交換】

		<p>④ ICT化、タブレット化【スケジュールについて事務局から説明、意見交換】</p> <p>⑤ 質問のあり方(代表質問)【評価】</p> <p>⑥ 常任委員会の見直し【意見交換】</p>
第19回	令和元年6月5日 議会改革説明会(全体)	<p>議員全員への説明会(第2回)</p> <p>議会運営委員長から経過等について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員定数・議員報酬・政務活動費のあり方 ・議会タブレット導入スケジュール ・一関市議会災害対策行動指針
第20回	令和元年6月18日 議会運営委員会	<p>協議① 議員定数【意見交換】【資料説明】</p> <p>② 議員報酬【意見交換】【資料説明】</p> <p>③ 政務活動費のあり方【意見交換】</p> <p>④ ICT化、タブレット化【意見交換】</p> <p>⑤ 通年議会【資料説明】【意見交換】</p> <p>⑥ 常任委員会の見直し【意見交換】</p> <p>⑦ 議会改革報告会(仮)【意見交換】</p> <p>⑧ 議員活動アンケートについて【資料説明】【意見交換】</p>
第21回	令和元年6月27日 議会運営委員会	<p>協議① 常任委員会の見直し【意見交換】</p> <p>② 議員活動量アンケート【意見交換】</p> <p>③ 議会改革意見交換会(仮)【意見交換】</p>
第22回	令和元年7月24日 議会運営委員会	<p>協議① 議員活動量アンケート【意見交換】</p> <p>② ICT化、タブレット化【説明】</p> <p>③ 通年議会【意見交換】</p> <p>④ 議会改革意見交換会(仮)【意見交換】</p> <p>決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 議員活動量アンケート【令和元年1月～12月】 ② 市民との意見交換会開催
第23回	令和元年8月20日 議会運営委員会	<p>協議① 議会改革市民との意見交換会【意見交換】</p>
第24回	令和元年9月27日 議会運営委員会	<p>協議① 予算、決算審査特別委員会の審査方法【意見交換】</p> <p>② 議会基本条例の見直し【資料説明】</p> <p>③ 委員会の会議録の公開(ホームページ)【意見交換】</p>
第25回	令和元年10月18日 議会改革説明会(全体)	<p>議員全員への説明会(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会運営委員長から経過等について説明
第26回	令和元年10月18日 議会運営委員会	<p>協議① 行政視察(11/8 滝沢市議会)</p> <p>② 3月定例会日程について</p>
第27回	令和元年11月8日 行政視察	<p>滝沢市議会視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会改革の取り組みと住民参加について ・通年議会のメリット・デメリットについて ・議会改革の検証・評価について
第28回	令和元年11月20日 議会運営委員会	<p>協議① 質問のあり方(代表質問)【評価と今後について】</p> <p>② 予算、決算審査特別委員会の審査方法について【評価</p>

		と今後について】 ③ 議会基本条例の見直しについて【評価】 ④ 会議規則について【評価】 ⑤ 通年議会について【次回取りまとめ】 ⑥ 質問のあり方(3月定例会日程について)【日程の協議】 ⑦ 議員研修会について(12/20)
第29回	令和元年12月12日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【次回取りまとめ】 ② 議会基本条例の見直しについて【意見交換】 ③ 議会改革意見交換会について(令和2年1月) ④ 議員研修会について(12/20)
第30回	令和元年12月20日 議員研修会	「議会改革について(報告)」議会運営委員長 勝浦伸行 「議会改革第2ステージ」青森中央学院大学 准教授 佐藤淳氏
第31回	令和2年1月14日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【意見交換】 ② 議会基本条例の見直しについて【意見交換】 ③ 議会改革意見交換会について(令和2年1月) ④ ICT化、タブレット(3月定例会議案)
第32回	令和2年1月22日 令和2年1月23日	議会改革意見交換会 参加者66人 1/23 一関市役所議会棟 参加者14人 1/22 花泉支所大会議室 参加者12人 1/22 大東コミュニティセンター 参加者6人 1/22 東山市民センター 参加者6人 1/23 千厩支所大会議室 参加者6人 1/23 室根曲ろくふれあいセンター 参加者6人 1/23 川崎市民センター 参加者9人 1/22 藤沢支所大会議室 参加者7人 出席者 議会運営委員会委員
第33回	令和2年2月4日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【事務局から資料提供】 ② 議会基本条例の見直しについて【次回取りまとめ】
第34回	令和2年2月28日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】 ② 議員報酬について【意見交換】 ③ 議会基本条例の見直しについて【意見交換】 ④ 委員会条例の改正について【意見交換】
第35回	令和2年3月18日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】 ② 議員報酬について【意見交換】
第36回	令和2年3月27日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】 ② 議員報酬について【意見交換】 ③ 政務活動費のあり方【意見交換】
第37回	令和2年4月21日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】 ② 議員報酬について【意見交換】 ③ 政務活動費について【意見交換】

第38回	令和2年4月24日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】
第39回	令和2年4月24日 議員全員協議会	・議会改革について 議会運営委員長から説明
第40回	令和2年5月12日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】
第41回	令和2年5月20日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】
第42回	令和2年5月28日 議会運営委員会	協議① 議員定数について【意見交換】 ② 通年議会について【意見交換】
第43回	令和2年6月25日 議会運営委員会	協議① 議会への住民参加の手法の検討について【意見交換】
第44回	令和2年7月7日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【意見交換】 ② 令和2年度市民と議員の懇談会について【意見交換】 ③ 高校生の議会傍聴について【意見交換】 ④ 閉会中の議場見学会について【意見交換】 ⑤ 一関市出身の大学生等との意見交換会について【意見交換】
第45回	令和2年7月27日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【意見交換】 ② 市民と議員の懇談会について【意見交換】 ③ 一関市出身の大学生等との意見交換会について【意見交換】
第46回	令和2年8月6日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【意見交換】 ② 議会モニターについて【意見交換】
第47回	令和2年8月21日 議会運営委員会	協議① 通年議会について【意見交換】 ② 議会モニターについて【意見交換】 ③ タブレットの有効活用・オンライン会議について【意見交換】
第48回	令和2年8月25日 議会運営委員会	協議① タブレットの有効活用・オンライン会議について【意見交換】 決定事項① 会議規則を改正する発議を決定（ICT活用推進プロジェクトチームの設置）
第49回	令和2年9月23日 議会運営委員会	協議① 一関市議会定例会条例の改正について 決定事項① 定例会条例を改正する発議を決定（通年議会とする旨の改正）
第50回	令和2年10月2日 議会運営委員会	協議① ICT活用推進プロジェクトチームについて【意見交換】 ② 市民と議員の懇談会について【意見交換】
第51回	令和2年10月19日 議会運営委員会	協議① スケジュールについて ② 議会基本条例の検証について【意見交換】 ③ 市民と議員の懇談会について【意見交換】
第52回	令和2年10月30日	協議① 通年議会について【意見交換】

	議会運営委員会	② 大学生等とのオンライン意見交換会について【意見交換】 ③ 議会基本条例の検証について【意見交換】
第53回	令和2年11月5日 議会運営委員会	協議① 大学生等とのオンライン意見交換会について【意見交換】 ② 通年議会について【意見交換】 ③ 市民と議員の懇談会について【意見交換】
第54回	令和2年11月16日 議会運営委員会	協議① 委員会の見直しについて【意見交換】
第55回	令和2年12月2日 議会運営委員会	協議① 委員会の見直しについて【意見交換】 ② 通年議会について【意見交換】 ③ 市民と議員の懇談会について【意見交換】
第56回	令和2年12月10日 議会運営委員会	協議① 一関市議会会議規則の改正について【意見交換】
第57回	令和2年12月17日 議会運営委員会	協議① 委員会の見直しについて【意見交換】 ② 通年議会について 決定事項① 会議規則を改正する発議を決定（通年議会関連）
第58回	令和3年1月18日 議会運営委員会	協議① 委員会の見直しについて【意見交換】 ② 一関市議会委員会条例の改正について【意見交換】 ③ 広聴広報委員会について【意見交換】
第59回	令和3年2月16日 議会運営委員会	協議① 一関市議会委員会条例の改正について ② 広聴広報委員会（仮称）について【意見交換】 ③ 市議会通常会議の出席者の見直しについて ④ 予算・決算審査特別委員会分科会出席職員の見直しについて ⑤ 一関市議会会議規則の見直しについて【意見交換】 ⑥ 行政視察への当局の随行について【意見交換】 決定事項① 委員会条例を改正する発議を決定（常任委員会の見直し） ② 通常会議への出席者の変更について ③ 予算・決算審査特別委員会分科会への出席職員の変更について
第60回	令和3年3月3日 議会運営委員会	協議① 一関市議会会議規則の一部を改正する規則について 決定事項① 会議規則を改正する発議を決定（欠席事由など）
第61回	令和3年4月23日 議会運営委員会	協議① 議会モニターについて【意見交換】 ② ICT活用推進プロジェクトチームからの報告について【報告の説明と意見交換】 ③ 市民と議員の懇談会について【意見交換】 ④ 議会基本条例の検証について【意見交換】
第62回	令和3年5月26日 議会運営委員会	協議① 議会基本条例の検証について【意見交換】 ② 議会報編集特別委員会について【意見交換】 ③ 議会モニターについて【意見交換】

第63回	令和3年6月8日 議会運営委員会	協議① 議会基本条例の検証について ② 議会報編集特別委員会について ③ 市民と議員の懇談会について【意見交換】 決定事項① 議会基本条例の検証結果 ② 改選後の議会報編集特別委員会
第64回	令和3年6月15日 議員協議会	① 議会基本条例の検証について ② 改選後の議会報編集特別委員会について
第65回	令和3年7月30日 議会運営委員会	協議① 議員報酬、政務活動費のあり方について【意見交換】 ② 議員間討議、会派の定義について【意見交換】 ③ 議選監査委員について【意見交換】 ④ オンラインによる会議の開催について【意見交換】 ⑤ 改選後の議会報編集特別委員会について【意見交換】 ⑦ 議場・委員会室への携帯品について【意見交換】 ⑧ 議会モニターからの意見等について【意見交換】
第66回	令和3年8月10日 議会運営委員会	協議① 議場・委員会室への携帯品について【意見交換】 ② 一関市議会基本条例等の一部を改正する条例の制定について【意見交換】
第67回	令和3年8月26日 議会運営委員会	協議① 議場・委員会室への携帯品について ② 一関市議会基本条例等の一部を改正する条例の制定について 決定事項① 議場・委員会室への携帯品 ② 議会基本条例等を改正する発議を決定
第68回	令和3年8月26日 議員協議会	① 広聴広報委員会について ② 議会改革について
第69回	令和3年9月7日 議会運営委員会	協議① 一関市議会基本条例の検証について ② 議会改革報告書について

行政視察

岩手県北上市議会
年月日 平成30年5月8日(火)
通年議会とタブレットについて視察した。

岐阜県可児市議会
年月日 平成31年4月23日(火)
～議会改革の取り組みについて～ 可児市は名古屋のベッドタウンとして人口が増加しているが、それに伴って、今後高齢化が進むことが懸念されている。 執行部へ市民の声を反映し、市民への説明責任を果たすため、平成15年から議会改革に取り組んだ。 市民へのアンケート調査を行い、議会への関心、議員の活動状況を知っているかなどの把握に努め、議会改革を進める必要性を再認識し、平成25年には議会基本条例を制定し、平成29年には見直し、改正を行っている。 また、ICTの活用や研修の充実などに取り組んでいる。 代表質問は、委員会の代表質問を行っており、全委員一致の項目のみ質問をすることになっている。 積極的に高校生や子育て世代の声を聞くなどし、若い世代への取り組みも進めている。 結果、市民の議会への関心も高まった。

愛知県小牧市議会
年月日 平成31年4月24日(水)
～議会改革の取り組みについて～ 小牧市議会は「自分たちのやれることから改革をやっていく」というコンセプトの基に、議会改革委員会を中心に議会基本条例の制定や政治倫理条例の制定などを行い、議会改革に取り組んでいる。 また、昨年、FAXのリース満了に伴いタブレットを導入し、議員への通知などに活用している。LINEWORKSを使うことによって、タイムリーに議員と連絡が取れている。 代表質問は会派とし、申し合わせで質問時間を1人あたり50分として、答弁時間は制限がないため最初の会派は2時間以上の質問となっている。 一般質問は質問時間、答弁時間合わせて60分以内。 予算の特別委員会では、歳入も歳出と同様に各分科会に分割し審査することとし、歳出に関連した歳入についても分科会で質疑できるようになった。

岩手県滝沢市議会

年月日 令和元年 11 月 8 日 (金)

① 議会改革の取り組みと住民参加について

市民の声を反映した政策提言を実現するため、平成 26 年 1 月に基本条例を施行し、基本条例に従い、次の 6 項目について取り組んできた。

・通年議会の導入、・市民の意見を聞く仕組み、・合意形成の仕組み、議会モニターなどの側面支援の仕組み、議会の状態を確認する仕組み、改革を継続する仕組み

また、市民の意見を聞く場として、・市民議会、・議会報告会・市民懇談会を行っている。市民議会としては、今年度はアンダー 22 として、学生を中心に議会を行い、答弁は議員が行った。市民懇談会は、自治会単位で行っている。

② 通年議会のメリット・デメリットについて

通年議会は、会期が通年となり、いつでも会議の開催が可能になるため、政策提言のための委員会を活発に開催できるよう導入し、委員会の時間は 1.8 倍、日数は 1.4 倍となった。

③ 議会改革の検証・評価について

議会の状態を確認する仕組みとして、議会評価シートを作成し、該当する委員会で評価している。市民の評価まではまだ至っていない。

議会改革の取り組みを検証し、継続的に取り組むために、議会改革推進会議を設置し、取り組みの検証や基本条例の検証を実施し、評価の低い項目の原因等を分析し、更なる改革へつなげることとしている。

